## No.2

実施項目		困りごとを発見する仕組み				
実施内容		地域のつながりの希薄化、単身世帯の増加などにより、生活の様々な場面で困難を抱えながらも他者に頼ることができない人が増えています。この項目では、困りごとのある人が、その問題を一人で抱えず発信できる場をつくることと、自分で発信できない人を見つけるための取り組みを行います。  既存のサロン支援  既存のサロン支援  既存のサロン対、現在の取り組みはそのまま活かしながら、困りごとの早期発見の場としても発展していけるよう、運営者向けの研修を実施し、意識向上をはかります。また、モデルで1カ所のサロンを取り上げ、実施項目 No.1 の声かけ隊の協力のもと、サロンへ出て来ない人に向けた働きかけを行います。  学区単位の相談会の実施  住民とその地域に拠点をおく専門職との協働で相談会を行います。サロンなど人の集まる場に専門職が出張し、個別の専門相談を受けます。支援の内容によっては、専門職だけでなく、住民もともに関わっていけるよう、相談の段階から一緒に話を聞き、住民と専門職が一				
年度別進行状況		26年度	27年度	ュースします。 28年度	29年度	30年度
	既存のサロン支援	・サロン研修の企 画づくり ・サロンに限らず、 私的な集まりを 把握する。(グラ ウンドゴルフ、 ラジオ体操など)	・運営主体別(ボラ、保会会を実施・田りごと相談案。 ・サロンと社協がの おがりをもつ。	・サモデルのでは、 サールでは、 サールでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 かいでは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。		・困りごと発見の 場として意識し て運営されるる ロンが増える とを目指す
	学区単位の相談会	・モデルのサロン 選定 ・専門機関(ケアマネ、障害者基 幹相談支援センター、子育て支 援関係機関等) への打診	・サロンへの打診、 相談会実施へ向 けて打合せ ・モデル実施	と協働) ・実施内容を広報	・実施の拡大、呼びかけ	・町内単位で専門 職と住民が協力 して困りごとの 早期発見ができ る体制を整える
関連する 実施項目		No. 1 つながるための働きかけ No. 3 困りごとを解決する仕組み No. 6 活動範囲を広げる交流の実施 No. 8 気軽に集える新しいサロンの形成 No.13 地域団体・企業・専門機関の連携強化				
協力·関係機関		居宅介護支援事業所、障害者基幹相談支援センター、子育て支援関 係機関、サロン				